

広告原稿入稿に関するお願い

2023年10月
株式会社 三栄 営業企画局

【データ作成時の注意点】

■原稿データ、出力見本用PDF、データ仕様書の3点をそろえて入稿ください。

原稿データ

印刷対応のソフトとそのバージョン

[illustrator] [Photoshop] [Indesign] いずれもCS8～CC2023年版

(※ AdobeのCS7以前のバージョンは使用できません。最新のAdobe CC2024年版は対応していません。)

[PDF]を本データとする場合、X-1a 2001(バージョン1.3)で入稿をお願いいたします。バージョン1.4～1.6は対応していません。

[J-PDF(JMPA)]は現行のシステム『JMPAカラー2018』準拠PDF仕様書で入稿をお願いいたします。

出力見本用PDF

illustrator、Indesignデータ入稿の場合も出力用PDF(原寸大、トンボ付き)を添付ください。Indesignデータはアウトライン済みのPDFの添付を必ずお願い致します。なお、くれぐれもデザインで仮置きしたガイド(枠線)など全て削除をお願いします。

■出力見本用PDFも、原寸から上下左右3mm外側の“外トンボ”までデータの塗り足しをお願いします。例えば、297×232(mm)の原稿サイズの場合は、303×238(mm)で背景データを作り、最後に297×232(mm)のトリムマーク(トンボ)を置きます。原稿データも出力見本用PDFも見た目は全く同じです。

■原稿データは印刷用のCMYKのプロセカラーを使用してください。RGBモードでの入稿はしていません。

■ブランドロゴなどに使用される「特色」は使用しないでください。近似色にて制作をお願いいたします。

■リッチブラックを使用する際はCMYKの濃度合計(タック値)が300%以下で制作をお願いします。

■QRコードに関しましては、アウトライン化した後、1C(黒のみ)で作成し推奨サイズを遵守して掲載をお願いします。

■J-PDF(JMPA)データでの色校正はどの印刷所でも受け付けておりません。色校正が必要な場合はillustrator、Indesignなどのデータで、データ画像は「埋め込み」ではなく「リンク」でお願いします。

■原稿データの画像リンク外れがみられます。画像の差し替え時やファイル名の文字化けには注意願います。

■墨ベタと墨ノセに関しまして

墨ベタ(K100%)はオーバープリント処理を行います。K100の場合、背景の写真やオブジェクトが透けてしまう事故が起こる場合もあります。事故防止の為“リッチブラック(例 K100%、C.M.Y30%の混色)”や“毛抜き合わせ”の対策をお願い致します。インクジェットの出力見本では事故の発見はできませんので注意ください。

【AdobeCCの最新バージョン(2024)リリースに関するお願い】

2023年10月
株式会社 三栄 営業企画局

現在、安全な出力が保証できていない事と作業環境が構築できないことから、10月10日リリースの最新2024年バージョンでの入稿対応が各印刷所で出来ない状況です。

最新2024年版をインストールする場合でも、対応可能なバージョンでの入稿をお願いいたします。

※現在対応できる入稿バージョンは、AdobeCC(2023)までとなります。

入稿対応可能なデータ作成環境を残してください。

インストールを行う際、バージョンアップも「アップデート」と表示されます。

そのままアップデートしてしまうと、以前のバージョンが残りません。

以前のバージョンを残しつつ、最新バージョンのインストールをお願いします。

仮に対応不可のバージョンで入稿された場合には、対応可能データでの再入稿をお願いいたします。

最新版でしか入稿できない場合、完全データのVer.1.3のPDFを付けて入稿をお願いいたします。

画像の差し替えや、一部修正などは一切お受けできません。

◎以前のバージョンを残さずにアップデートをしてしまった場合

以前のバージョンをインストール

【やり方】

CreativeCloud デスクトップアプリケーション、

各アプリケーションの右側、3点リーダー→他バージョン→入稿対応バージョンを選択、インストール

印刷所の入稿対応開始までに以前のバージョンを削除してしまった場合には、環境の再構築をお願いします。

最新バージョンでの入稿対応開始は、印刷所での検証完了後にアナウンスをいたします。